

第 40 回日本顎咬合学会学術大会・6 支部学術大会 [合同開催]

《 講演同意書 》

特定非営利活動法人日本顎咬合学会
理事長 黒岩 昭弘

第 40 回日本顎咬合学会学術大会・6 支部学術大会 [合同開催] における講演動画作成にあたり、別紙『講演ガイドライン』についてご同意いただけますようお願い申し上げます。

ご同意いただけます際には、下記黒枠内にご署名をいただき、当学会事務局までご提出の程お願い申し上げます。

- 提出方法 [E-mail] gakujutsu@ago.ac または [FAX] 03-6675-9539
- 提出期日 2022 年 7 月 29 日 (金)

第 40 回日本顎咬合学会学術大会・6 支部学術大会 [合同開催] における講演動画作成について、「講演ガイドライン」を遵守いたします。

日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日

署名 _____

《お問合せ先》

特定非営利活動法人日本顎咬合学会 [学術大会事務局]

〒102-0093

東京都千代田区平河町 1-8-2 山京半蔵門パレス 201

TEL 03-3261-0474 / FAX 03-6675-9539

E-mail gakujutsu@ago.ac

講演ガイドライン

2021年9月

特定非営利活動法人日本顎咬合学会
理事長 黒岩 昭弘

1. 講演規定

- (1) 資料配布の禁止（講演内容に関する資料も含む）
- (2) 特定の個人・団体の宣伝（勉強会含む）、特定の施設名の使用、特定の商品名の使用、特定の企業の宣伝（チラシ配布、購入の斡旋等）行為を行うことはできません。
なお、講演データ内にそれらを挿入することもできません。

2. 肖像権使用に関する許諾

日本顎咬合学会では講演の様子を写真撮影（一部動画を含む）し、学会活動の記録用、会報誌等への掲載用として記録保持を行います。

【使用範囲等】

- (1) 撮影した写真・動画は原則、日本顎咬合学会の会報誌、HPで使用します。
- (2) 撮影した写真は原則第三者への提供は致しません。但し、学会活動の紹介、宣伝につながる業界誌への掲載については検討のうえ認める。
またご本人から提供のご要望があった場合でも用途を確認させていただきます。
- (3) 本画像を会報誌等に使用した場合、ご本人への画像・動画使用料等のお支払いはありません。
- (4) 撮影された写真及び動画が必ずしも使用されとは限りません。
- (5) 撮影に際しては、講演中のスライドが写らないように十分に配慮致します。
- (6) 本動画及び本画像のデータ、それを出力した媒体の提供はありません。

3. 倫理規定・未承認資材

- (1) 差別的表現の禁止
差別的意図の有無に関わらず、今日的なコンプライアンスから鑑みて差別的・侮辱的
と受け取られかねない表現を行ってはならない。
- (2) 個人情報の保持
症例解説において写真・図・表・動画など、患者を特定できる資料を用いる場合はプ
ライバシーの保護に配慮する。それらの資料を用いる場合は患者の許諾を得たうえ
で、許諾を得ていることを付記する。
例：患者個人が特定される写真の無許可で使用することはできません。

⇒患者に写真使用の許可を取り、必ず許諾を得ていることを明記する。

⇒患者本人が許可している場合を除き、目を隠す等の処理が必要である。

(3) 倫理申請について

ヒトを研究対象とする場合はヒトを対象とする法律や基準に則り、患者または被験者との間にインフォームドコンセントが得られていなければならない。一般的に周知されていない方法や術式等を用いた場合は追試が可能なように、材料・機材・術式について詳細な説明が必要である。

また、未承認薬・資材・器材を用いた臨床研究は倫理申請を要する。

4. 「著作権ガイドライン」の遵守

講演データ作成にあたり、著作権侵害に当たることが無いよう以下の点にご留意ください。

(1) 音楽は原則として使用しないこと。

発表において必要不可欠な場合は使用してもよいが、あらかじめ関係する著作権及び著作隣接権の権利者から全ての必要な許諾を得ておくこと。許諾を得ていることを主催者あるいは連絡先に知らせておくこと。

(2) 他人が撮影した写真・映像は使わないこと。

※インターネット上で「著作権フリー」として公開されていると表記のある写真・映像・音楽であっても、著作権／著作隣接権の許諾がされている場合に限る。

(3) 神社・仏閣、美術品・古美術品、映画のシーンなどは自分が撮影した写真や映像であっても使用しないこと。

・美術品や映画のシーンは自分が撮影した写真や映像であっても著作権（複製権等）の侵害となる場合がある。

・神社・仏閣、古美術品などは著作権が消滅している場合であっても所有者権や所蔵者から利用許諾契約の締結が求められる場合がある。

(4) 本の表紙や絵を利用する場合には、出版社に問い合わせしてから指定された条件に従って使用すること。

(5) 引用に際しては、次の各点を遵守すること。

・引用の目的上正当な範囲内にとどめること（全文引用など当該他人の著作物全部との関係で無用に広い範囲の引用をしないこと）。自己が創作した表現部分（オリジナル部分）と他人の著作物である表現部分（被引用部分）を明瞭に区別すること。

・量質ともに、被引用部分が『従』でオリジナル部分が『主』の関係となる記述とすること。

・公正な慣行に従うこと（特に出典の明示）

(6) 論文と異なり単行本の図や表をそのまま引用する場合は注意すること。

単行本の図や表は出版社が作成して、出版社が著作権を有しているケースがあるため、

文章の著者から許諾を得ただけでは図や表を適法に利用できない場合もあることから、出版社に確認して、必要な許諾を得ること。

【著作権ガイドライン一例】

- ・ 芸能人、著名人の顔写真を無許可で使用 → ×
- ・ 漫画やアニメのキャラクターの使用 → ×
- ・ イラストの引用 → ×

※但し、著作権／著作隣接権の許諾がされている場合に限り、使用を可とする。

- ・ 他人が撮影した写真や映像を使用 → ×
- ・ 美術品、神社・仏閣、映画のシーンの使用 → ×
- ・ 動画内に BGM を流す → ×
- ・ 著書からの図やデータの流用 → ×

※著者の自他を問わず、出版物の著作権は出版社に帰属するので無断使用は不可。著作権の窓口があるので、出版社に許可を得れば使用が可能。その際には必ず出典を明記する。

5. その他

著作権・肖像権等に関する個別・具体的な法律解釈は、学会所属の顧問弁護士に照会する場合もある。

《講演ガイドライン：お問合せ先》

特定非営利活動法人日本顎咬合学会 [学術大会事務局]

〒102-0093

東京都千代田区平河町 1-8-2 山京半蔵門パレス 201

TEL 03-3261-0474 (平日 10-17 時) / FAX 03-6675-9539

E-mail gakujuitsu@ago.ac